

「第 7 回・第 8 回県民フォーラム意見報告書」の概要

「水源環境保全・再生かながわ県民会議」では、直接県民の皆様から幅広く意見を収集すること等を目的に「県民フォーラム」を開催してきました。このたび、平成 21 年度に開催した 2 回の県民フォーラムについて、参加者の意見等を取りまとめた報告書を作成しました。

県民フォーラム開催状況

(1) 第 7 回横浜・川崎地域

日 時 平成 22 年 1 月 26 日 (火) 18 : 30 ~ 20 : 30

場 所 横浜市開港記念会館 講堂

参加人数 205 名 (参加者意見 55 件)

(2) 第 8 回湘南・県央地域

日 時 平成 22 年 2 月 27 日 (土) 13 : 00 ~ 16 : 00

場 所 藤沢リラホール

参加人数 131 名 (参加者意見 71 件)

意見の概要

(1) 森林の保全・再生事業に関すること

ア 間伐材の利用促進など、林業がビジネスとして成り立つような制度の整備を行ってほしい。安定的な収入を得られるよう準公務員のような制度についても検討してほしい。

イ 日本の森林は水資源保全にとって大切な資源であるという視点に立ち、現場の声をもっと取り入れ、正しい間伐方法について研究するなど、かたよった森林づくりにならないようにしてほしい。

ウ 森林塾の積極的な P R などにより、森林再生に向けた人材の確保を進めてほしい。

エ 市町村への助成金事業など、行政が実施する事業のチェックができるようなマニュアル作りを進めてほしい。

オ 路や柵の整備・維持管理方法をもっと改善してほしい。

(2) 水源環境への負荷軽減事業に関すること

ペットボトル水の多量な流通や水道局の高度処理は環境への負荷や費用がかかる。行政はもっと中長期的な視点に立ち、河川水や地下水の改善・保全に取り組んでもほしい。

(3) 情報の提供・理解の促進に関すること

ア 事業実施箇所への看板の設置、市民活動のイベントの広報、メディアなどによる周知・啓発など、県民にもっと P R してほしい。

イ 水源環境に対して、県民が気軽に参加し関心を持つことができるよう

な身近な取組について検討してもらいたい。

ウ 事業実績や目標達成度については、整備面積・整備率・予算の執行状況を示すだけでなく、効果を示すような資料を用いて説明を行い、県民が理解できるような方法でより広く公開してもらいたい。

エ 県民に理解を深めてもらうため、県民と行政の役割を明確化してもらいたい。

(4) 環境教育に関すること

環境学習を学校教育(カリキュラム)に取り入れることや、県民が水源地域を視察できる機会を作るなど、積極的な環境教育を行ってもらいたい。

(5) 市民活動への支援に関すること

ア 市民のボランティア活動や活動団体に対して、行政の支援が必要である。

イ 生物多様性の大切さを理解し、協働していく方法について検討してもらいたい。

(6) 県外対策に関すること

県外上流域への対策として、水源環境保全税の県外投資を検討し、山梨県や静岡県と協力して水源環境整備に努めてもらいたい。

(7) その他

ア フォーラムに参加して、水源林の管理や生物多様性のことなど、水源環境保全・再生の取組について知ることができて良かった。

イ 環境保全に関しては、様々な方向からの取組とともに、調査研究にも力を入れてもらいたい。

ウ 生態系の観点に立ち、適切な調査や取組を行ってもらいたい。

エ シカ対策及び捕獲したシカの活用方法について検討してもらいたい。